



▲ソウル近郊にある民俗村は70万㎡の広大な面積をもつ



▲文化開発の拠点となる県民文化センター（模型）



▲民俗村では伝統芸能も実演されている



▲朝鮮王朝の正宮、景福宮

郷土文化の振興につきましては、県民一人ひとりが、芸術や文化、あるいは文化財に接して、心の豊かさを培うような機会を提供し、積極的に文化活動に参加する体制を整えることが必要です。

このような観点から、芸術文化の振興と文化財の保護活用に重点を置いて各種事業の施策を推進してきましたが、本年度は多くの方から期待されていた県民文化センターの建設が年度内に着工されます。また、県民が優れた生の芸術文化に接する機会の増大を図る地方文化振興事業の充実をはじめ、各種文化活動への助成や、有形・無形の文化財、史跡、名勝などについても調査、保存管理を積極的に行うと同時に文化財に対する保護意識の啓蒙普及と保存施設の整備を図ります。

★芸術文化の振興……………  
二百四十八万円

舞台芸術に接する機会を図るため、中央の優れた生の舞台芸術を鑑賞していたり、文化団体の活動を促進するための助成を行います。

さらに、本年度から県移動芸術祭を一会場で開催し、鑑賞機会の増大を図ります。

★風土記の丘建設調査……………  
百二十八万円

郷土における歴史的、風土的特性をあらわす史跡などが多く存在する地域を広域的に保存することを目的とした「風土記の丘」の建設については、前年度から基礎調査を行ってきましたが、本年度は菊池川流域にしばって、基本構想策定のための調査を行います。

★文化財保護対策……………  
一億四千二十五万円

祖先から引き継いだ貴重な文化財を保護活用するため、各種調査及び保護管理の強化ならびに文化財の所有者や市町村が行う保存整備事業等に対する助成を行います。

★美術館事業の充実……………  
四億五百七万円

美術館については、美術品取得基金を活用して、その充実を図るとともに、各種展示会事業の充実や装飾古墳壁画の復元模写その他絵画、彫刻等の実技講座の開設事業等を行います。

★県民文化センター建設……………  
十五億二千四十万円

本県の文化開発の拠点となる県民文化センターの建設については、基本設計案を得て、実施設計の段階ですが、この実施設計の完了をまわって、本年度内に着工し、昭和五十七年度に完成を予定しております。

本年度は、その初年度分の経費として十五億二千四十万円を計上しました。